

## 中小企業振興基本条例早期完成へ

### 井之川議員の質問に市長が答弁

3月8日に開催された沼田市議会一般質問で、井之川博幸議員の質問に横山沼田市長は、「中小企業振興基本条例の制定作業につきましては、先進事例の調査研究等を進めておりましたが、感染症の影響が深刻化する中で、対応する施策を迅速に進める必要があったため、中断せざるを得ない状況でありました。本条例につきましては、コロナ禍により、中小企業を取り巻く環境が大きく変化している中で、地域経済についてしっかりと調査した上で、早期の完成を目指し、制定作業を進めてまいりたいと考えております」と答弁しました。



井之川博幸市議

### 飲食店以外の業種にも支援金を

井之川議員は、「沼田市飲食店支援金」の対象外の企業・事業者へも支援を実施するよう求めました。

横山市長は、「飲食店以外の事業者への影響も、深刻であると認識しております。長期化するコロナ禍に対応するための、飲食店以外の支援施策につきましては、国や県の施策の動向を注視しながら、昨年12月に開始しました、電子地域通貨 t e n n g u を活用した経済活性化を中心に、進めてまいりたいと考えております。」と答弁しました。

### テングー(ポイント10%)加盟店295店に

沼田市が始めている地域通貨テングーは、使用するとプレミアムポイントが10%つきます。市内の店舗で使えますが、使える店舗が多ければ便利になりません。現在295店舗まで広がっています。利用したい人は、沼田市のホームページを見るか、市産業振興課にお問い合わせください。市役所23-2211

## 生涯学習や社会教育事業は引き継いでいく

井之川議員は、教育委員会としては、地区公民館が廃止され、コミュニティセンターになっても「社会教育を推進していく地方公共団体の任務」を果たすため、移行後も大いに活用していく必要があるのではないかと質問しました。

横坂教育長は、「コミュニティセンター移行後についても、生涯学習及び社会教育事業に大いに活用するとともに、コミュニティセンターにおける地域住民の主体的な学習については、これまでの地区公民館の生涯学習や社会教育事業を引き継ぐものであります。教育委員会といたしましては、生涯学習や社会教育の推進という視点から、地区コミュニティセンターとの連携を図ってまいりたい」と答弁しました。

しかし井之川議員の、将来的にもこの状態がキチンとひきつがれていく保障や担保はあるのかという質問に、横坂教育長は、「検討していく」と答えるのみで、明言はしませんでした。



コミュニティセンターになる利南公民館

### 将来的に指定管理者の管理へ

地区公民館を廃止してコミュニティセンターに移行するための「沼田市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例」の中に、指定管理者による管理が明記されています。公民館を運営してきた教育委員会やコミュニティセンターを運営する市民協働課は、今までの事業は継続していくと明言はしています。指定管理(民間)も当面は行わず、将来的なこととっていますが、それなら将来必要になったら改定すればいいことです。指定管理になれば民間に任せるといふことから、現在の事業が継続される保障はありません。

2021年3月14日 No.1009

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料